

発行：福岡県遠賀郡水巻町役場（☎201-4321） 毎月10日発行 印刷：冷牟田印刷

オランダから チューリップの球根 一万個が届きました。



① 思いがけないプレゼントに「来年の春は
りっぱな花を咲かせます」とはりきる机
小学校園芸部のみなさん

水巻町長さま

私たちは、十字架の塔の近くに植えるチューリップの球根をプレゼントできて光栄です。

日本とオランダの学校が、一緒に記念碑を手入れすることは、素晴らしいことだと思います。十字架の塔は、第2次世界大戦の時、水巻で犠牲になったオランダ人捕虜の記念碑です。そして、学校間の協力は平和のシンボルです。私たちは、二度とこのような恐ろしい戦争が起こらないことを望んでいます。

1年前、私たちの学校で「Japan week」（日本週間）がありました。その1週間私たちは不用品を売りました。そのお金でこの球根を買いました。行き届いた手入れをして頂ければ幸いです。そして、十字架の塔とチューリップの花が、本当に平和のシンボルになることを望んでいます。〈オランダからの手紙〉

町では、贈られた球根の一部を十字架の塔に植え、残りを小・中学校と保育園に配布しました。



① 十字架の塔（水巻中学校の西、
多賀山の斜面に建っています）

行政の枠をこえて 広域的な郷土づくりを…

トライアル
2001

二十一世紀に向けたふるさとづくりを語り合う「広域シンポジウム・トライアル2001」が11月18日、水巻中央公民館で開かれました。中間青年会議所が主催したこのシンポジウムには、北九州市長のほか、中間市長と遠賀郡の各町長が出席。地域プランナーの大久保浩孝さんの基調講演に続いて、パネルディスカッションが開かれ、二市四町の各首長が約一時間半、今後の地域づくりについて意見を交換しました。

今日は、広域シンポジウムの内容のあらましを紹介します。



美しい海岸線や 遠賀川を生かした ふるさとづくりを…

大久保 二十一世紀に向けて、二市四町のこの地域が、今後どのようなふるさとになったらいいたろうと思われませんか。

刀根 岡垣町は、北九州広域圏の一番隅っこですが、面積は遠賀郡の約半分を占めています。

私は、将来はやはり遠賀郡四町が合併すべきだと考えています。幸い私の町は、十二キロメートルの風光明媚な海岸線に恵まれ、玄海リゾートの指定も受けまして、

現在、西部の山麓に家族旅行村を構想建設中です。将来の遠賀市に向かって、北九州広域圏の保養の地としての町づくりを進めていきたいと思っています。

高山 私は、住、職、自然のバランスある町づくりがいいんじゃないかと思っています。そして住民自らが考え、行動するような町、これが二十一世紀にふさわしいと思います。

そこで、人材育成が最大の課題になります。遠賀町は、遠賀川や豊かな自然があります。この自然を守りながら、のびのびとした環境の中で、人づくりをやっていくような、そういうふるさとにしたいと考えています。



① 中間青年会議所の松本理事長と握手する伊藤水巻町長

吉田 芦屋は、江戸時代から明治時代にかけて、商業港として非常に活気を帯びた町でした。戦後は基地の町として経済発展を遂げました。先祖が築いたこの町を、我々も二十一世紀に向けて、活力のある町にしなければなりません。芦屋町は現在、玄海レクリエーション構想の一環として、響灘シーフロントゾーンという「タウンリゾート」としての町づくりを目指しています。若い人が集まる町、人情のある町、空気のおいしい町、そういう町を創ることによって、町全体を飛躍させなければと考えています。

また、芦屋には一つの宝物があります。それは鎌倉時代から室町



■パネラー

- 北九州市長 末吉 博
- 中間市長 末吉 博
- 芦屋町長 末吉 博
- 水巻町長 末吉 博
- 遠賀町長 末吉 博
- 岡垣町長 末吉 博
- 中間青年会議所理事長 末吉 博
- 興寿徳衛和 隆
- 吉曾田 藤山 根本
- 末木 吉伊 高刀 松

■コーディネーター

大久保浩孝 (地域プランナー)

時代にかけて製造された芦屋釜です。このような文化財を保存し、これを活性化に役立てながら、ふるさとづくりをしたいと考えています。

伊藤 水巻は、特別な産業も、観光資源もありません。ただ炭鉱があったわけですが、残念ながら閉山しまして、財政もどん底に落ちてしまった訳です。

私は、町長になって二十年になります。その間、ひたすら財政の再建と炭鉱跡地の開発に取り組みでまいりました。

今後、どういう町にしていこうかということですが、なかなかいい智慧がございません。やはり、遠賀川を何らかの資源にして、水と緑を利用した町づくりに取り組んでみたいと考えております。

木曾 私の町の愛唱歌の一節に「川の流れば海を目指し、永遠に変わらぬ遠賀川」とあります。海の向こうには世界の国々があります。そして世界の人々が生活

しています。こうした国際性を持った私たちのふるさとであると考えています。

遠賀川や玄界灘を中心としたこの地域は、気候、風土、人情、習慣、方言など、多くの共通性を持っています。そこに住む人たちが、共同連帯して、「もやい」でその果実を享受できるようなふるさとづくりができれば良いなあと考えています。

中間市の場合、石炭産業が衰退し、現在では産業、経済、文化の面で、北九州市の恩恵にあずかる町になっています。二十一世紀に向けてのふるさとづくりは、主体性を失うことなく、北九州市を中心に考えざるを得ません。そこで中間市は、遠賀川を中心とした「文化的住宅都市」を町づくりの重要課題と位置づけまして、北九州広域圏の中の価値ある存在を目指して取り組んでおります。

大久保 ここまでの話で、特に自然、歴史、遠賀川を軸に、ある程度

の共通点があったかと思えます。ここで北九州市の市長には、八幡西区を含むこの地域が、今後どのような町づくりをすればいいのかわかりませんが、意見をうかがいたいと思います。

末吉 本日の関係一市四町から北九州市に通動しているのは、四割から五割です。しかし、肝心の北九州がここ数年衰えてきております。大都市で人口が減っているのは東京の都心部と北九州だけです。昨年も五千人ぐらいい減りました。一昨年は七千五百人ほど減りました。特に若い働く人が減少しているわけでありまして、従いまして北九州の場合は、町の構造から変えなきゃあいかんという非常に厳しい状況にあることは事実であります。

そこで将来どういう町に変えていくのか。結論から言いますと、北九州が持っている特性を生かそうということです。西日本では技術の集積している町ですから、国際的に広がる技術都市を目指そうというのが一つであります。それから、二百キロメートルにおよぶ海岸線と、面積の半分を占める山を持っています。そういう自然的な特徴を生かした長期構想を立てております。

しかし、この長期構想の場合、一番読みにくいのは国際交流です。十年先の国際交流がどのようなものか、分かるようになりにくい。国際的な広がりがどう

いうふうになっていくかということとを気を付けながら、今までにない、若い人が集まってくるような町に、意識的に変えていく必要があるかと思えます。

今、北九州市民に向かって、北九州で自慢できるものは何かと聞いた場合、北九州にはこんないところがあるよと、自慢できるものはあまりないと思えます。むしろ悪いことで自慢することの方があろうかと思えます。

二十一世紀には、私は、ふるさと自慢が四つでも五つでもできるような町にしたいと思っています。

高度な文化施設は行政の枠をこえて共有してはどうか。

大久保 中間青年会議所が行ったアンケート調査をみますと、文化施設の充実と自然保護の町づくりという声が多く見られました。それについてどう考えますか。

刀根 岡垣町は文化の砂漠ではないかという、強い批判を受けています。人口の急増に対して施設が非常に立ち遅れているからです。

そこで、今後十年計画で、文化会館や図書館などの建設をしたいと考えています。それから、カルチャーとスポーツを複合した約四、五十億円くらいの、どえらい施設も現在計画中です。

高山 例えば中間市に音楽堂、岡垣にスポーツゾーン、それからどこどこに美術館というように、広域でそれぞれ個性的な施設を整備してはどうだろうか。そして同じ様に利用できたらいいんじゃないか。

私の町では「文化ふれあい事業」ということで、貸切バスで住民を移動させ、北九州や福岡の施設を利用して、観劇会や音楽会、美術展などを楽しんでもらっています。なかなか好評でして、今後もそういう事業を進めながら文化の発展に尽くしたいと考えています。

吉田 文化施設をつくる以前に、調和のとれた諸施設の整備をしなければなりません。道路、公園、下水道などの整備ができてはじめて文化施設をつくる価値があると考えています。芦屋町の将来計画では、七、八年後に約千席の文化会館を建設する予定です。

自然保護についても、十二キロにわたる三里松原のクロマツや、奇岩で知られる山鹿の海岸線など、恵まれた自然を守りながら、観光や食べ所としての町づくりを考えていきたいと考えています。

伊藤 今年十月に「もしも、あなたが町長なら」という、ふるさとづくりのアイデアを募集しました。百件近くの応募がありました。やはり、文化施設、自然保護の提案が多かったわけですが、中でも図書館と郷土資料館をつくく、



芦屋町長
吉田 徳久



水巻町長
伊藤 衛門



遠賀町長
高山 和幸



岡垣町長
刀根 功

つたらどうかという意見がありました。

ハードな面は行政で頑張ればどうにかできますが、自然保護や河川浄化は、行政がいかに太鼓をたたいても、なかなか実現が難しい訳です。

これは、住民のみなさん自身に考えていただいて、組織やグループで取り組んでいただくのが一番効果的ではないでしょうか。行政も十分後押ししたいと考えております。

木曾 高度な芸術、文化性を求める施設は、私どものような小さな市では莫大な費用と維持管理費がかかるので至難の技です。北九州市の博物館や美術館を利用させてもらいたいと思います。したがって中間市は、身の丈に合った個性のある施設を充実させたいと考えています。

また、かけがえのない大自然を破壊しない人づくりは、ふるさとづくりの最重要課題と考えています。行政内部の意識改革や、ボランティア活動を通じて、地域住民にその後姿を見せることが大切だと考えています。

末吉 私たちは、施設をつくらないうち文化が向上しないような錯覚があるのではないのでしょうか。それぞれ同じ市民ですから、同じような享受ができるような施設を均等につくることは、やはり行政として必要だろうと思います。し

かし、今はもう、音楽なら音楽だけ、芝居なら芝居だけ、能なら能だけというふうに特定化しているような気がします。そうだとすれば、それぞれの地域で足の便さえ良くすればお互いに利用できるわけですから、まさに持ちつ持たれつの時代が芽生えつつあると思います。ハコ物をつくりますと、維持費が本当にかかるんです。二十世紀になって維持費ばかりに税金が使われるようになることは、非常に財政の自由度を拘束することになります。後世のために常々考えなければいけないことです。

昔は広域行政で処理する部分は、ゴミとか消防とかでしたが、今後は文化施設の面についても、広域行政の中で見直す時代が来たのではないかと感じます。

**地域おこしは、
息の長い、広域的な
市民運動から…**

大久保 行政を進めて行くうえで、どのような市民運動が今後期待されますか

刀根 広域シンポジウムは、はじめてのことでしたが、今後もこのような民間主催のシンポジウムを大いにやってもらいたい。できれば、抽象的なテーマではなく、具体的なテーマをお願いしたい。

高山 「どここの町が体育館をつくったから、うちにもつくってくれ」こういう、何か物ができないと首長の能力がないんだというような要望がある。(笑)私は住民の方に、本当の行政とはどうゆうものか考えていただき、意識の向上をお願いしたいと思う。

それから、高齢化社会に向けて、お年寄りの世話が問題になってくる。行政に何とかしろと言うのではなく、六十五歳くらいの健在な人が自発的にボランティア活動をしてくれることを期待したい。

もう一つはゴミの問題です。子孫に資源を残すためにも、リサイクル運動を広げて、ゴミの量を減らしてもらいたいと思います。

末吉 外国もようやく、町づくり、地域おこしに熱心に取り組み始めました。それだけ住民の意識が変わりつつあるのだろうと思います。正直いまして、市民のニーズに全部応えるというのは、まさに至難の技です。行政としては、やはり順序をつけてやっていかなければならない訳です。

町づくりにとって非常に重要なことは、基本的な方向を決めることでしょう。行政が一つの方向を目指すのに、反対の方向を目指す人が多いと町づくりはうまくいきません。長期計画などで基本的な方向に合意ができると、非常に取り組みやすくなります。

木曾 私は、民間主導による幅



コーディネーター
大久保浩孝



中間青年会議所理事長
松本隆雄



北九州市長
末吉興一



中間市長
木曾寿一

広いふるさとづくり運動を展開していただきたいと思っています。

広域的なふるさとづくりには、大きなネットワークがあります。それは行政間や住民の縄張り意識です。これを民間の力で、風通しをよくしていただいて、広域的な行政運営ができるような組織づくりを期待したいと思っています。

伊藤 地域ではいろいろなニーズがあるわけですが、最近はそのサイクルが非常に早くなって、そんな中で、行政がやるべきことを的確に判断することは、難しくなってきました。

市民運動は、長期的でしかも継続的に続けていただくことが大切です。一時的なものでは何にもなりません。私の経験では役場の職員が二、三人入るとうまくいくようです。行政と住民の方と、それに専門家の方を加えて運動を起こすことが一番効果的ではないかと考えています。ぜひ、やっていただきたいと思っています。

吉田 広域圏で、行政と共に行う市民運動が、果たして可能なのでしょうか。

私共は行政執行していく上で、議会側との協議や審議を重ねなければならぬわけです。ですから市民運動が具体的にどのよう形で町づくりに関われるのか、私自身想像できません。

末吉 広域圏が一体感を得るためには、交通のネットワーク、手

つとり早くいえば道路の整備が必要だと思っています。

それから、町づくりには非常に時間がかかるということを認識していただきたいと思っています。ビッグリーグが全米一住みやすい町になったといいますが、それまでには四十年の歳月がかかっています。日本ではいいますと、大分県の大山町は昭和三十五年から人材育成をはじめました。イスラエルまで町役場の職員を派遣したりして、もう三十年はかかっています。そういうことを考えますと、町おこし、地域おこしというのは息の長いことだと理解していただきたいものです。九州の方、特に北部九州の方は気が短い方が多いようですので、ぜひこの点、長い目で見守ってほしいと思います。

それから、芦屋の町長が言われたように、議会と住民団体の関係は難しい点がありますが、北九州市の場合を例に申しますと、民間の町づくり団体ができました。例えば、町づくり団体の意見が立派だとすれば、議会を動かし、市を動かすということは可能なわけです。ですから、決して対立的にとらえることはないと思います。

このほか、中間青年会議所の松本理事長から、アンケート調査の報告と、広域行政に対する要望や提言がありました。紙面の都合で割愛しました。

救急自動車贈呈式



県共済農協連から 救急車が プレゼントされました。

11月18日、遠賀郡消防署に、最新鋭の救急車がプレゼントされました。

福岡県共済農業協同組合連合会が、自賠責共済益金の還元の一環としてプレゼントしたもので、オートフロージャーという半ドア防止装置や、高さが自由に調節できる折り畳み式の移動寝台を備えた8人乗りの救急車です。

贈呈式では、伊藤代表理事（水巻町長）が「郡内では年間約2,000件の救急件数が発生しています。第一線の戦力として活用させていただきます。」とあいさつ。テープカットに続いて、ピーポー、パーポーと走り初めをしました。

11月26日、中央公民館で少年教室の「しめ飾りづくり」が開かれました。この日挑戦したのは、12枚の羽根を広げた鶴のお飾りです。

しめ飾りで難しいのは、胴体の縄をわらでつくるところ。足で押さえ両手でねじりながら作るのですが、一人ではすぐにゆるんで、なかなか上手にできません。指導のおじさんに手伝ってもらったり、友達と二人で協力しあったりと、悪戦苦闘の2時間でした。

「難しかったけど、思ったよりうまくできた。家の玄関に飾ります。」と、若松めぐみさん（吉田小6年）。お正月の準備が一つ片付きましたね。

しめ飾りにチャレンジ



まちの ゆだい



① 第一保育所の移転工事がはじまりました。

元気な赤ちゃん



藤原一樹くん
63年12月13日生まれ
(忠幸・芳江)さんの二男



田代佳奈ちゃん
63年12月18日生まれ
(精一・美愛)さんの二女

こんには、わたしかなです。ちよつぱりおデブちゃんなのかなやみなのはやく、あんよがじょうずになって、シェイプアップしたいワ……

(おかの台団地三二一四〇五号)

チヨロチヨロしてはハラハラさせる毎日です。元気で明るく育てほしいものです。

(吉田二〇五一)

防犯の日町民大会 中学生6人が意見発表



11月12日、中央公民館で「水巻町防犯の日町民大会」が開かれました。大会では、吉田団地子供育成会と防犯功労者18人の表彰に続いて、水巻中学校の生徒6人から意見発表が行われました。発表者と題名は次のとおりです。(敬称略)

- <1年> 村崎周平「いじめ」・手嶋啓子「豊かな国、日本になぜ非行が」
- <2年> 岡村和博「真の勇気を」・行正明代「たった一つの挨拶を」
- <3年> 田中里美「友情について」・田口恭子「友情のきずな」

申し込みは庶務係へ(毎月2人まで)

芸術・文化の秋を満喫

11月3日、文化の日。この日は町の文化人が勢ぞろいする一日です。

中央公民館の大ホールは早朝から超満員。大正琴の合奏でスタートした芸能まつりは、民謡、舞踊やコーラス、楽団演奏などのオンパレードで、夜の8時までぎっしりのプログラムです。弁当持参のお年寄りたちで終日大にぎわいでした。

作品展も多彩です。書道、切り絵、写真、アートフラワー、陶芸など、ホールには自慢の力作が所狭しと陳列され、玄関前には菊花展。とにかく、訪れた人を楽しませてくれた一日でした。

文化連盟のみなさんありがとう。



お母さんが「赤とんぼ」を披露

11月7日、水巻南中学校で開かれた合唱コンクールでPTAのママさんコーラスが美しいハーモニーを披露しました。

メンバーは29人のお母さんと5人の先生。夏休みから毎週木曜日の夜2時間の練習を重ねてきただけに、お母さんたちの歌う「赤とんぼ」や「ほたるこい」は情緒があって、みんなうっとり。生徒たちから盛んな拍手を浴びていました。

「はじめのうちは恥ずかしいからと反対していた子供たちも、今では一緒に夜遅くまで歌うようになりましたよ。」とリーダーの坂本美恵子さん（吉田三）。親子でコーラス……すてきな関係ですね。



遠賀の野菜は安くてうまいよ。

「食と緑を守り、遠賀の味を確かめよう」をテーマに11月19日、芦屋ポートレース場で遠賀郡農業水産まつりが開かれました。

この日は、航空祭と重なりましたが、朝から家族づれの見物客や買物客が次々に訪れ、農産物・植木・苗物の即売・演芸大会やゲームなど、思い思いに楽しんでいました。

中でも特に人気があったのは野菜の即売でした。トラック2台に山積みされた白菜、大根、かぶなどは飛ぶように売れ、あっという間になくなりました。

演芸大会では、低空で飛ぶジェット機の爆音もなんのその、すばらしい歌声が場内に響いていました。



ロビーで、障害者の手作り作品展

11月上旬、遠賀信用金庫本店のロビーを利用して、身体障害者の手作り作品展がありました。

左手が不自由な長崎モモエさん（高松団地）たち約20人が、手編みのベスト、ぬいぐるみ人形のほか、小物入れやブローチなど約40点を出品。ハンディーを感じさせないほど丁寧に仕上げられた作品に、「細かいところまで、よくできてるね。」と、来店者も足を止めて感心していました。

ロビー展を企画した身体障害者福祉会の松本和雄さんは「去年までは身障者センターで展示していましたが、ここのロビーの方が見てくれる人が多くて、会員にも喜ばれています。」と話していました。

「もしも、あなたが町長なら」●ふるさとづくりにチャレンジ

ふるさと思いの三十六人から

八十五件のアイデアが寄せられました。

もしも、あなたが町長なら……子や孫にどんなふるさとを残したいと思いますか。

「自ら考え自ら実践する地域づくり事業」をテーマに募集していたふるさと創生一億円の使い道について、三十六人から八十五件のアイデアが寄せられました。ありがとうございます。

アイデアの内容を見ると、遠賀川や自然を生かした町づくり、下水道や公園の整備、水巻駅前の開発など、これからの町づくりにとって重要なテーマが多いようです。

寄せられたアイデアは、今後ふるさと委員会の実現性や効果などについて検討を重ね、具体的な事業を決定する予定です。採用が決まりたい広報でお知らせします。

観光夢計画

● 観光夢計画
曲川の両岸に柳や桜の並木をつくり、遊覧船を浮かべて川下りをする。豊前坊に久我城を築城する。

● 屋形船
遠賀川に屋形船を運航する。

● 炭鉱坑道の再利用
総合運動公園の近くに坑道を開口し、「鯛生金山」のような坑内見学コースをつくる。郷土資料館などを併設する。

● 水上レジャーランド
巨大なイカダのセンター、釣り場、ボート遊びなど遠賀川を利

用したレジャー施設をつくる。

● 釣り堀
レジャー用釣り堀をつくる。

● 展望台
山の神付近に、自然遊歩道と展望台をつくる。

● 遊歩道
明神ヶ辻山に遊歩道をつくる。砲台跡に桜を植えて、花見ができるようにする。

● 自然公園
机社宅跡地や机山一帯を花見や紅葉が楽しめる自然公園にする。

● 憩いの森
運動公園に隣接して公園をつく

る。その中に美術館・図書館・音楽ホール・遊歩道をつくる。

● 国民宿舎と保養ランド
町営の国民宿舎と町民のための保養ランドをつくる。

● 明神ヶ辻山に遊園施設
アスレチック、キャンプ場、草スキー、虫とりなど、家族で遊べる自然公園をつくる。

● サイクルロード
町内を一周するサイクルロードをつくり、マラソン大会やサイクルラリー大会をする。

● ぼた山
ぼた山を整備し、だれでも登れ

る観光地にする。

● レクリエーション施設
老若男女、家族で楽しむレクリエーション施設をつくる。

● 活性化を考える会の設置
観光面や文教面など、「町の活性化を考える会」を設置して、町民の参加を呼びかける。

● 水巻駅前の開発
水巻駅南側を開発し、水巻町の玄関としてふさわしくする。

● 水巻駅舎の移転
ホームの中央、南側に立派な駅舎をつくる。

● 駅前歩道橋の整備
現在の水巻駅前歩道橋を、鹿兒高本線踏み切りの南側まで延長する。

● 地下道をつくる
水巻駅前の歩道橋を廃止し、代わりに第一生命水巻支部から電報電話局まで地下道をつくる。

● 快速電車
水巻駅に快速電車が停車するよう働きかける。

● 市営バス路線の改善
猪熊↓役場↓中央公民館↓水巻駅コースのバスを増やす。

● バス路線の開設(1)
猪熊↓古賀↓机↓頃末コースのバス路線を開設する。

● バス路線の開設(2)
①向田営業所↓猪熊↓梅ノ木↓頃末↓水巻駅
②向田営業所↓梅ノ木↓黒崎駅

● 道路の整備
市街化を予想した道路を整備する。駅の南の道路は幅を広げる。

● 堀川の埋立て・宮尾陸橋
堀川の川幅を狭くして蓋をし、広い道路にする。宮尾から吉田小学校付近に、鉄道を横断する陸橋をつくる。

● 遠賀川の堤防に植樹
河原の公園にも、大きな木陰で一休みという様な風情が欲しい

● 古賀・机地区に公園
河川敷公園は、堤防横断が危険なため老人には利用できない。

● 古賀・机地区に公園
古賀・机地区に公園をつくる。

● 古賀・机地区に公園
古賀・机地区に公園をつくる。



● 頃末公民館前の空き地の緑化
空き地に樹木を植えて木陰をつくる。花壇などもつくる。

● 水路の利用
遠賀川の水を誘引し、一年中利用できる水路をつくる。

● 児童公園
歩いて行ける距離に、大きな木がある児童公園をつくる。管理は近くの住民にまかせる。

● 家庭菜園
町内の遊休地や、農家から町が土地を借りて、園芸希望者に一坪農園として貸し出す。

● イチヨウ並木
イチヨウ並木の周遊コースをつくる。ところどころに民話やコースの案内板を設置する。

● 空き地の利用
空き地を畑にして、お年寄りや子供たちがふれあう場にする

● 町並みの整備
道路に緑地帯をつくる。空き地の雑草刈りを義務づける。

● みんなで公園を考える
どんな公園がよいか募集してみんなで公園を考える。

● 下水道の整備
家庭雑排水のたれ流しをやめ、トイレを水洗化するため、下水道を整備して河川を浄化する。

● 簡易水洗設備に補助金を支給
町内全住宅に簡易水洗設備を普及させる。必要な資金の一部は町から補助金を支給する。

● 合併浄化槽の設置
し尿と家庭排水を混ぜて浄化できる石井式合併浄化槽を、町主導で設置する。

● 町営住宅周辺の下水道化
町営住宅の高層化にともなって周辺地域も同時に下水道化する

● 河川の清流化
水洗化によって曲川などの川を清流にする。そのためには各戸が負担し合ってもよい。

● 老人大学の設置
常設の老人大学を設置する。

● 図書館の整備
郡内からも利用者が来るぐらいの図書館をつくる。

● 移動図書館
幼児が本に接することができるように移動図書室や、校区ごとに本を置く場所を設ける。

● 文化的に豊かな町にする
児童劇団や人形劇などを年に2回ほどよび、児童に鑑賞させる。水巻の歴史資料コーナーを設けて写真などを展示する。

● 小・中学校に吹奏楽
小・中学校にオーケストラの指導ができる先生を配置し、運動会、文化祭などで演奏する。

● 軽音楽設備の設置
校場に放送センターをおき、いつでもどこでも有線放送で軽音楽が聴けるようにする。

● 手話講座・点字講座
学校教育の中に手話講座と点字

講座を設ける。講師に、障害者を嘱託職員として採用する。

● 地元の材料を使った学校給食
学校給食に使う野菜類や米を、地元の農家に作ってもらう。

● 子供の心を育てる
親・学校・地域が協力して、子供たちに「人を思いやる心」の芽を育てる。

● 長寿者の植樹
長寿日本一をめざしトッブから3人程度、名前、年齢を記載して植樹する。

● 老人福祉の町づくり
年をとっても安心して住める町をつくる。ボランティアを育て、シルバード業を誘致する。

● 養老住宅の建設
高齢住宅街の近くに養老住宅を建設する。

● 公共料金の引き下げ
水道料金、ごみ収集料金などを安くする。

● 高齢者対策の支援
高齢者対策部署を新設し、老人会の指導や後援に力を入れる。

● 排水路に蓋を設置
子供の事故をなくすため、排水路に蓋をする。

● 外灯の整備
暗い夜道は心細い。主要道路や街路に、外灯を整備する。

● 非常時用の放送設備
全町に非常時用の放送設備を整



遠賀川河川敷公園で遊ぶ子供たち

備し、火災が発生した時など、素早く町民に情報を知らせる。

● 空かんの再利用
回収した空かんで、像や工芸品を作って、展示・即売する。

● リサイクルセンターの設置
家庭で不用になった品物のリサイクルセンターを開設し、障害者の働く職場をつくる。

● 協力で、道路やグリーンベルトを区切って町の清掃をする。

● 日本一美しい町づくり
町のところどころに、ごみ箱を置き、週に一、二回のクリーン運動を展開して、ごみをなくす。

● 清掃ボランティアの育成
町をきれいにするためのボランティアを育て、県道の花壇の手入れや、ごみ拾いをする。

● スーパーの誘致
吉田地区に、日用雑貨や衣料などを置いたスーパーを誘致する

● 金融機関の新設
町南部に銀行の支店か出張所を新設する。

● 大綱引き
鹿児島本線をはさんで、南北對抗の大綱引き大会をする。

● 国際交流
アジアの難民を受け入れる。住宅を提供し、町民として生活する場をつくる。

● 祭りの創造
黒崎祇園のような祭りを起こし水巻町をPRする。

● 提案制度
町民提案制度を設け、広報等を通じてアイデア募集をし、優秀なアイデアを紹介する。

● その他
町営住宅の高層化、小中学校の環境整備、高尾ボタ山の緑地化、公衆トイレの設置、計画行政などのアイデアがありました。

はたち
20歳



↑ 昨年の成人式のスナップです

成人式の対象者を調査しています。

町教育委員会では、来年1月15日に行われる成人式の対象者を調査しています。新成人に該当するのは、昭和44年4月2日から昭和45年4月1日までに生まれた人です。

この名簿は11月20日現在の住民票をもとに作成しています。名前が載っていない人、名前に間違いなどがある人は、中央公民館までご連絡ください。

なお、成人式には就学や就職のため町外に住んでいる人も参加できます。希望する人は申し出てください。

あなたの名前は
ありますか？

成人式

と き 平成2年1月15日
と ころ 水巻町中央公民館



なつかしい
あの人に
会えるかな

おめでとう



こころにちは保健婦です

10月22日に開催した第三回水巻町健康まつりには、たくさんの方に参加していただき、ありがとうございました。今回は、その時実施した、歯科相談と講演会のアンケート結果を紹介します。

健康まつりのアンケートが
まとまりました。

歯科相談コーナー

歯科相談には92人の親子が参加しました。アンケート結果の中から、一部を紹介します。



Q 三歳までに全ての子供が、おやつに甘いものを食べています。実際、一歳半の健康相談の時は、虫歯の子はほとんどいませんが、三歳児健診になると虫歯が急激に増えていきます。このことは次の結果とも関係します。

● 間は……75・4%
● はい……24・6%

健康講演会

望月先生の講演会で、アンケートに答えてくれた人は45人です。

● アンケートに答えた人の年齢構成



話の内容は「よかった」と答えた人が95割。実技は「非常によかった」87割、「難しかった」4割、「わかりにくかった」2割という結果でした。

小さな子は、三回の食事でも一日に必要なエネルギーを摂ることが難しいので、別に間食が必要になります。ところがこの間食を、おやつと甘い物と考えている人が多いようです。あくまでも食事の一部と考えてみてはどうでしょうか。

健康まつり

健康まつりについては、「一般の人がもう少し関心を持って有効に利用できるように」「午後も各コーナーを設けて」「子供中心ではなく大人中心のまつりにしてほしい」「いつまでも続けて欲しい」など、いろいろな意見を聴かせていただきました。

みなさんの意見を参考に、子供からお年寄りまで、一人一人が自分の健康について「見直し、考える」きっかけになるような健康まつりにしていきたいと思えます。



また、「戸外で体を動かしたかった」「もう少し老人向きの話がよかった」という意見や、「老人の健康法や体験談など具体的なユーモアにとんだ話が聞きたい」「薬品についての話が聞きたい」「実演がほしい」という要望も寄せられました。

そして、今後話を聞きたい人として、藤本義一さんや山下泰裕さんの名前がありました。みなさんも、こんな人の話が聞きたいという希望があればお聴かせください。

昔 今 と さ る ふ

写真で見るとわがまち ①

写真は町民の提供の提供によります。

昭和30年ごろの生活



昭和30年 ゴムひもを売る行商人 (吉田区萩町周辺・現吉田団地)



昭和32年 ガス機で鉄板を切断する作業員 (二砥選炭機付近・現吉田団地)

行政功労者など 14人を表彰

文化の日「表彰式」



11月3日、文化の日、町行政や教育行政、社会福祉活動に功労のあった人に対する表彰が行われました。表彰を受けた人は、次のとおりです。(敬称略)

【水巻町長表彰】

〈行政功労者〉 ●江藤イト(頃末)
 〈永年勤続功労者〉 ●豊沢麟児(農業委員会委員) ●黒瀬勉(農業委員会委員) ●山本太喜夫(区長)
 ●稲村刃(区長) ●岡部嘉紀(消防団分団長) ●臼井秀雄(消防団員) ●清水寛(消防団員)

【教育委員会感謝状】

〈学校教育協力者〉 ●松本大次郎(頃末)

【社会福祉協議会表彰】

〈社会福祉事業特別功労者〉 ●黒澤花子(吉田団地) ●丸山カズエ(頃末) ●黒瀬國義(頃末) ●島崎ミトメ(頃末) ●居石一義(猪熊町住)

上ニクラブにライオンズ旗 ママさんバレーボール大会

水巻ライオンズ旗を懸けたママさんバレーボール大会が11月5日、町民体育館で開かれ、8チームが出場。試合は上ニクラブと猪熊ママが1セットも落とさず勝ち進み、決勝で対戦。フルセット

にもつれ込む接戦で、3セット目は上ニクラブが23対21で猪熊ママを下し、優勝しました。

■優勝 上ニクラブ
 ■準優勝 猪熊ママ
 ■三位 吉田三ホープ・古賀クラブ



11月19日に開かれたスポーツ少年団駅伝・マラソン大会には437人の団員が参加。今年の駅伝は、9人で遠賀川河川敷の1000mトラックを9周しました。

女子の部は8チームが参加、寒風の中、元気なレースを展開し、頃末水泳Aがトップでゴールイン。男子の部は18チームが参加、昨年の優勝チーム伊左座ソフトに10秒の差をつけて、頃末水泳Aが優勝しました。

■男子 ①頃末水泳A ②伊左座ソフトA ③吉田野球
 ■女子 ①頃末水泳A ②机水泳A ③吉田水泳



頃末水泳がW優勝

スポーツ少年団駅伝・マラソン大会

スポーツあれこれ情報

チームワークで 吉田三が優勝

ゲートボール
選手権大会

「3番第2ゲート通過」「5番にタッチ」…11月15日、さわやかな秋空の下で開かれたゲートボール大会には、14チーム108人が元気なプレーを展開。チームワークと頭脳プレーが勝負を決めます。

①吉田三 ②おかの台 ③高松団地 ④吉田団地



上ニが 圧勝

少女バスケットボール大会

11月12日、町民体育館で少女バスケットボール大会が開かれ、14チーム200人の選手が参加。試合はA・B2つのコートに分かれたトーナメントで、それぞれの勝利チームが決勝へ進出します。

家族やクラスメイトの声援の中、上ニと頃末南が決勝で対戦、68対21で上ニが圧勝しました。

①上ニ ②頃末南 ③頃末北 ④下二



くらしの情報

問い合わせは役場まで
▲201-4321

福岡県青年の船の 団員を募集します

社会教育係

●期間 平成2年5月19日から
5月30日まで(12日間)

●訪問国

中華人民共和国・大韓民国

●費用 九万円(班長は免除)

●ほかに諸経費が必要です

●募集人員 一般団員 300人・班
長 18人

●募集期間 12月1日～1月26日

●応募資格

▽日本国籍を有している人

▽年齢 一般 18歳～30歳
班長 26歳～35歳

▽県内に居住している人

●申し込み・問い合わせ先

役場教育委員会社会教育係

早めに申し込んでください し尿の年末臨時収集

生活環境係

年末の、し尿臨時収集の申し込

年末・年始 の事務



年末・年始の役場業務と公共施設は、次の期間お休みです。
ご用のある人は、早めにごまかせください。

- ▷役場の事務 12月29日から1月3日までお休みです。
- ▷中央公民館と図書室 12月29日から1月3日までお休みです。
- ▷えぶり山荘・身障者センター 12月28日から1月4日までお休みです。

年末年始の交通安全県民運動

マナーアップ ふくおか
私は交差点マナーを守ります



期間/ 元年12月11日～2年1月10日

申し込み・問い合わせ

八幡技能開発センター開発援助
課 電話641局4906番

受講しませんか 住民のための政治講座

中央公民館

私たちの生活は、あらゆる面で政治と結びついています。政治のしくみやあり方について勉強してみませんか。

学習テーマ

回	とき	学習内容
1	1月16日(水) 13:30～15:30	政治教育の意義 政治知識を高めるために
2	1月30日(水) 13:30～15:30	政治のしくみ 党・派と国の政治について
3	2月13日(水) 13:30～15:30	くらしの中の政治 生活と政治のむすびつき
4	2月27日(水) 13:30～15:30	地方自治への参加 町のことごとを一瞥に なって考えよう

●ところ

中央公民館

●定員

70人
申し込み 12月25日までに中央公民館へ

文化祭

短歌と俳句の 入選作品(上位のみ)

短歌

【大会賞】 佐々木 明
君子にも獣にもなれず老いていま
君しのびつつ挽歌を詠む

【可長賞】

江里口福子
見えますか聞こえますか缸の音に
夫に捧ぐる白菊の花

【鑑長賞】

入江 茂
その母の逝きて荒れたる戦友の
墓に野菊供華とし残し草刈る

【教育委員会賞】

岩井なちえ
亡夫と来し故郷の荒磯の波音を
肌湿るまで独り聴きをり

【中央公民館賞】

浜口 秋雄
空爆の鉄都に果てたる汝の碑に
菊を供へて眼裏あつし

【社会福祉協賞】

浅井 フミ
上向きて咲くことあらぬ茄子の花
の落ちし小花に蝶きて止まりぬ

【本選】

(工藤奈良生・選)
わが老化僅かに進むと医者は言う
身力あらば止めねばならぬ

行正 醇

薬を焼く吾に叙勲の内示あり雲は
動かすひたすら塵埃く

永沼 子

献体となりたる友の初彼岸わが胸
ぬちに吊いやりぬ

岡本真佐恵

原爆も終戦も知らず海に眠る夫征

永沼 子

献体となりたる友の初彼岸わが胸
ぬちに吊いやりぬ

岡本真佐恵

原爆も終戦も知らず海に眠る夫征

永沼 子

献体となりたる友の初彼岸わが胸
ぬちに吊いやりぬ

岡本真佐恵

原爆も終戦も知らず海に眠る夫征



新三種混合予防接種は 一時見合わせます

健康対策係

一歳から六歳までの子供を対象にした新三種混合(MMR)予防接種が今年4月から始まりましたが、接種後、数千人から三万人に一人の割合で、無菌性髄膜炎が発

●臨時収集 し尿の臨時収集は12月29日午前中まで行います。

●申し込み締め切り
12月19日(火)まで。

●申し込み締め切り

●申し込み締め切り

●申し込み締め切り

●申し込み締め切り

●申し込み締め切り

●申し込み締め切り

●申し込み締め切り

●申し込み締め切り

●申し込み締め切り

●申し込み締め切り

●申し込み締め切り

●申し込み締め切り

●申し込み締め切り

●申し込み締め切り

●申し込み締め切り

●申し込み締め切り

●申し込み締め切り

●申し込み締め切り

●申し込み締め切り

技能訓練で 再就職を応援します

八幡技能開発センター

八幡技能開発センターでは、再就職のための技能訓練や講習を行っています。ご利用ください。

●内容

▽グラフィンター作業(1月20日～21日)▽アーク、半自動溶接(1月13日)▽NC自動プログラミング(1月16日～28日)▽C言語応用(1月16日～2月1日)

老人大学院講座の 写真としおりができました

中央公民館

今年、老人大学院の各講座を終了された人に、終了のしおりと写真を渡しています。受講を終了した人は中央公民館まで受け取りにおいでください。



プロの鑑定士による 不動産相談開設中

福岡県

県では、土地の売買や価格などについて、不動産鑑定士による無

こ存じですか？ これが県の最低賃金 一日当たり3,810円

県内の最低賃金が改正され、1日3,810円(1時間477円)になりました。今後、従業員を雇用している事業所は、この賃金より低い賃金で雇用することはできません。また時間額は、パートタイマーなどの時間給労働者に適用されます。詳しくは、福岡労働基準局、☎(092)411局4578番までどうぞ。

産業別最低賃金

産業別	1日(円)	時間(円)	効力発生日
食料品等	3,930	492	63.12.26
繊維産業	3,929	493	63.12.19
木材・木製品	4,138	517	63.12.14
家具・装備品	3,884	486	63.12.14
出版・印刷	4,226	529	63.12.18
ゴム製品等	4,039	505	63.12.19
窯業・土石	4,075	510	63.12.11
粘土かわら	3,945	494	
機械・金属	4,140	519	63.12.31
電気機器	4,230	529	1.12.26
卸・小売 (商業店舗)	3,898	488	63.12.31
自動車整備	4,045	506	63.12.16
上記以外	3,810	477	1.10.1

料相談を行っています。

●とき 毎月第1、第3金曜日
午後1時から4時まで

●ところ 県庁1階 県民相談室
(福岡市博多区東公園7-7)

●相談内容 土地の売買、賃貸借、担保、交換その他

●申し込み 県民相談室(092)651局1234番

無縁墳墓(飯塚市)を 改葬します

飯塚市役所

●所在地 飯塚市大字庄司字石引1220番地 石引墓地

●無縁墳墓の数 10基

●改葬理由 公園整備

●改葬先 嘉穂郡須田町口ノ原222番地 法光寺

●届出先 飯塚市新立岩5番5号 飯塚市役所建設部都市計画課

●公園緑地係(0948)22局5500番 内線358

やさしい 太極拳教室が はじまります。



宮地完治先生

●とき 1月/17・24・31日
2月/7・14・21日
3月1・7・14・28日
(午後1時30分~3時30分)

●ところ 中央公民館大ホール
●申し込み 12月25日までに中央公民館へ
☎201-0401

愛のおくりもの ありがとうございました

町社会福祉協議会

次の方々から社会福祉協議会にご寄付いただきました。

●一般寄付として
●ともしびの会(わんぱくスナ)

- オの大蛇退治実行委員会)様
- 水巻町短歌会(第12回観菊短歌大会記念)様
- 香典返しとして
- 猪熊 故 樹添 勇様
- 古賀 故 高木 廣義様
- 猪熊 故 山浦ヤヨイ様
- 高松団地 故 伊藤 一的様
- 吉田団地 故 古閑 秀盛様
- 頃末 故 安部ラマス様
- 古田ノ三 故 瀬口 津守様
- 物品寄付として(車いす)
- 高松団地 森本 和代様

俳句 (向野楠葉・選)

ふるさとの川下に住み家を釣る

枯野菜で振り向くもの、皆遠し

話また偏差値のこと夜なべの灯

天高し二人三脚姑嫁

木曾谷の宿はくぐり戸秋ざくら

嫁ぐ荷に妻の手縫の刺枕

萩刈るに女の力つくしけり

団栗一つ坂にころがし山晴るる

草の実もつけて神官垣をまく

花びらを二三散らして菊移す

秋の雨サーカス小屋を覗く人

沖へ向く城主の碑あり草紅葉

きて会う彼岸いくそたび
小沢 之子
大椎の蔭に鎮まる供養塔の群なす
辺り野の花淡し
白石 静香
ブルドーザーに押しつぶさるる炭
住を雨無く老らと共に見守りぬ
野田精一郎

水巻むかし物語

< 5 >

柴田貞志

愁風古賀古城 (一)

一、遠賀河原を見おろして
流れを守る若山
飛び立つ雁の声かなし
はるかにらむ西の空
ああ愁風の古賀古城

二、響灘から吹きあがる
風に聞こえし雄叫びは
河原の敵に突き進む
死出の旅路の若武者よ
ああ愁風の古賀古城

(漢詩) 月は軍營を照らして松嶺寒し
凝視す十年落陽の山
人生短し名は永久に在り
大義に涙を揮って自刃を決す

三、栄えしものは滅びいく
栄華の夢もくだかれて
老松折れて枝もなく
はるかに拝む山鹿城
ああ愁風の古賀古城

これは、これから書く「愁風古賀古城」の詩である。
もっとも古賀古城といっても知らない人が多いと思うが、遠賀河原に突き出た秀峰豊前

坊山(標高八四・七メートル)の前名で、江戸時代中期まではこの山を古城山といっていた。また、その歴史を知る人も少なく、筆者は子供のころ母親からよく古賀城の話を聞いたが、これが縁で調査してすでに二十年になつて、それ以後の城と区別しているのので、ここでは「古賀古城」と題して、物語は古賀城で進めていくことにする。

「古賀古城のおいたち」

江戸時代以前につくられた城はほとんどが山城で、その始まりは南北朝時代からといわれている。したがって、それ以前の平安、鎌倉時代の戦いは原野に出でた騎馬戦が主体で、合戦ともなれば武將は家の子弟を引連れ、原野で敵と対峙する。そして距離が二、三十メートルの矢のころになると、まず矢戦から始まり、矢がつきるとめいめいが名乗り出て馬上で太刀の一騎打ちとなる。この場合、陣営を取り囲む障物物はあつたが、後世でみられるような城壁や空堀などはなく、また本拠地の館に敵が攻め入ることもないので備えはなかつたが、それでも当時は館を城といっていた。ところが中国から「孫子の兵法」が伝わり、そのなかに「およそ軍は高きを好みて低きを憎む」とあるのが、実戦で効果があることがわかり、それ以後、高いところに砦を築造したのが、次第に山城へと発展していったのである。

もっとも天險を頼みとする山城は、すでに六世紀ころ朝鮮半島から伝来したといわれているが、わが国の実戦で登場したのは、元弘二年(一一三二)に楠木正成の築城した千早城である。なお山城、山岳戦の開始にとともに、太刀は片手で打ち振る騎馬戦用の細身で軽い太刀姿から、両手で打ち振る徒歩戦用の身幅の広い頑丈な太刀へとかわり、また鎧も騎馬戦の大鎧から、運動性を求める胴丸、腹巻の類の徒歩鎧へとかわつた。さらに、この時代から槍が登場して、山岳戦や徒歩戦で盛んに使用されるようになり、また腰から吊した太刀は歩行のさまたげになるので、腰帯にたばさむ打ち刀へとかわつた。



古賀古城(豊前坊山)全景

くだつて室町末期になると、武力と権力によって支配した地方の豪族は、豊臣秀吉のよるな中央の大権力者から統一されて集権国家

がつくられ、これによって地方の豪族は政治、経済に不便な山城をさけて、城下町をとともなう交通の便利な平城を根拠地にするようになった。したがって最後の山城は天正八年(一五八〇)に織田信長が築城した安土城で、これより三年後の天正十一年には、豊臣秀吉が平城の大坂城を築城している。

では古賀城は、いつの時代につくられたのであろうか。これについては史料がないので判明しないが、初めは海賊の根拠地山鹿城の防衛と、遠賀川を運航する川船の護衛と監視を目的とした、山城であったと推測される。なお、ここでいう海賊とは、「北条五代記」に「戦船の侍衆を海賊という」とあるので、山鹿城は山鹿、麻生両時代にまたがる山鹿水軍の根拠地のことで、当時はこれを海賊城といっていた。そのため海賊城は港内にて監視のできる高台にあつて、つねに船と連絡をとるの城はあまり高くない、また山鹿浦は島であったことから島全体が海賊の根拠地となつて、館は城内にあつたものと思われる。

したがって山鹿城は中世に麻生氏が築城した山城ではないので、そのため源平合戦のみぎり山鹿秀遠は、島狭く防備薄きが故に安徳天皇を大君山に奉迎し、また足利尊氏の西国落ちの際も、城低きが故に古賀城内(後記する)の西光寺にかくまっている。

ところが、これに対して古賀城は、戦国目的のためにつくられた要害堅固な山城で、これを当時は「詰めの城」といっていた。しかも根拠地の山鹿城とは指呼の間にあつて、緊急時には船で古賀城へ退避することもでき、また本城の花尾城へは狼煙で急を知らせることもできる。いわば山鹿城にとつての古賀城は絶対必要な出城で、これよりして古賀城は、すでに山城の発達した南北朝時代初期にはつくられて、遠賀川の流れを守る重要な役目を果たしていたのである。(つづく)